

平成29年度 第3回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 技術セミナー

次世代自動車支援センター埼玉では、県内の自動車産業に関わる企業の技術開発力強化を支援するため、最新の技術動向や業界の技術ニーズなどの情報共有の場として技術セミナーを開催しています。

今回は、自動車を始め、鉄道車両、小型ビークルなどのパワートレインの課題として、低速から高速まで効率よくカバーできる駆動用モータが求められている中で、モータ自身の電氣的な制御技術開発と、メカニカルな遊星歯車などとモータを組み合わせた制御技術開発についてお話していただきます。

『電動パワートレインのメカトロニクス技術動向』

講演1

「省エネルギーで電気自動車を駆動できるモータドライブ技術」

東洋大学 理工学部 教授 堺和人氏

<概要> 低速から高速、高出力から低出力までの広い範囲で高効率を実現するために永久磁石の磁束の可変を可変する技術、極数を可変する技術を紹介する。さらに、モータコイルを直接制御して極数変換やフォールトトレランスなどの新機能を持たせるマルチインバータ駆動モータや個別コイル制御のエレクトロニクスモータについても紹介する。

<プロフィール> (株)東芝入社、電力・社会システム技術開発センターにて研究開発従事。2003年から横浜国立大学大学院客員教授、2010年から東洋大学教授、現在に至る。主として、制御用モータ、高効率モータ・発電機、EV用モータドライブシステム、非接触電力伝送、太陽光・風力発電、電磁気・パワエレ応用の研究に従事。平成18年度、平成25年電気学会論文賞、平成19年度日本電機工業会会長賞。

講演2

「日本精工のホイールハブモータはなぜ変速機付きなのか？」

日本精工(株) パワートレイン技術開発部
グループマネージャー 松田 靖之氏

<概要> 近年自動車の電動化・情報化が急速に進み、今後一層加速すると予想されている。自社の既存技術を生かし、かつ高度化する自動車技術に対応しながら、如何にして継続的に新商品(価値)を提供していくか？ 弊社の変速機付きホイールハブモータの開発事例を挙げつつ、その概要を説明する。

<プロフィール> 自動車の自動運転や電動化などに対応した新商品開発を担当。特に車両運動制御に関する開発に従事。

日時 2017年11月17日 (金)
13:30~15:30

場所 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室
埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2
(JR埼京線 北与野駅前)

参加費 自動車産業部会会員：無料
公社会員：1,000円
上記以外(一般)：2,000円

問合せ (公財)埼玉県産業振興公社 次世代自動車支援センター埼玉 新産業振興部 IoT・技術支援グループ
338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921
URL <http://www.saitama-j.or.jp/jidosha/>

申込先 ホームページからお申し込み願います。 <http://www.saitama-j.or.jp/jidosha/?p=7675>

